

看護職員の勤務状況(2026.4.1)

※2025年度より指標抽出方法を変更

病院規模:235床 看護師数: 常勤 156名 非常勤 27名(実人数) 看護補助者数: 常勤 28名 非常勤 15名(実人数) 月平均時間外勤務時間数: 0.91時間 月平均夜勤時間数: 急性期: 71.4 時間 回復リハ: 59.7 時間 地域包括ケア病棟: 53.2	参照先: 人員管理表 ー法人全体の看護師数(入外・クリニック・訪看・患サポ・医安・感染 人員管理表 含む 事務・衛生士含めない) 残業一覧 年度末の看護部(看護職:常勤のみ)月平均残業時間 様式9 病棟別夜勤時間数
--	---

看護職負担軽減のための取組

他職種との役割分担を明確にし、看護職員の業務分担の適正化を図る
看護師の確保を行い、業務が円滑に遂行するとともに業務の負担軽減を図る

看護職負担軽減につながったかの評価体制

計画の進捗管理・評価については、看護部・TQM委員会が所轄

責任者:看護部長と構成員である各部門責任者

上半期及び年度末に負担軽減経計画の達成状況の評価及び計画の修正を行う

取組項目	取組内容	現状の取組	2025年度末の状況	進捗状況			2026年度の改善目標	今後に必要な対処
				達成済	進行中	未実施		
業務量の調整	時間外労働が発生しないような業務量の調整	入退院調整の実施	業務検討と環境整備済み	○			継続	多職種(栄養)の介入
		看護業務標準化	業務手順・看護記録の改訂を順次施行中		○		継続	業務手順・看護記録の見直し
	早出・遅出等の柔軟な勤務体制	必要度B項目の高い患者に対して、洗面・食事等の介助が必要な時間帯に人員を配置	配置継続	○			継続	
医療DX	動画配信システム	患者説明業務を看護師が実施	2024年導入完了	○			継続	よりわかりやすい内容に改訂
	生成AIシステム導入	看護サマリ・カンファレンス記録等直接入力	未導入(ベンダー開発待ち)			○	導入の検討・運用構築	
	インカム導入	2026年2月全病棟に導入済		○			継続	
	病棟ナースコール	新規システム導入(アイホン社)にむけて補助金申請中	県からの結果待ち		○		新規検討事項	
看護職員と他職種との業務分担	薬剤師	持参薬の確認・管理	病棟薬剤師の配置	○			継続	他院では未実施施設多数あり 他院では一包化未実施施設複数あり
		持参薬の院内調剤	実施中	○			継続	
		入院患者の原則一包化調剤	実施中	○			継続	
		処方箋への簡易懸濁の可否表示	実施中	○			継続	
		病棟患者の服薬指導	薬剤師が施行	○			継続	
	薬剤助手	注射薬の点検	定期点検を実施	○			継続	増員or業務内容に追加
	リハビリ	早出・昼介入によるADL訓練と介助補助業務	回復リハ病棟での朝の食事・排泄・整容・更衣・移動の指導介助及び要請に応じた介助補助業務の実施	○			継続	
		一般病棟患者のトイレ動作介助	一般病棟患者のトイレ誘導やトイレ動作の介助実施	○			継続	
		患者の体重測定	車椅子体重計での体重測定 週1回、立位保持困難な患者に対して車椅子乗車状態で体重を計測	○			継続	
		リハビリ送迎時の移送	リハビリ時の移送はPT、OT、STが施行 患者の起居動作や車椅子乗移等の指導や歩行訓練を兼ねて病室からリハビリ室までの移動対応を行う	○			継続	
		吸引業務の実施	吸引プログラムを作成し、基本的知識と実技円周の指導及びテストを実施	○			回リハ:3年目以降の職員に対して研修を実施を継続	
		病棟でのナースコール対応	回リハ病棟でのナースコールに対して可能な範囲で介入実施	○			継続	
	栄養科	入院時食物アレルギーの確認	全患者へ実施	○			継続	
		食事摂取不良患者への食事調査	必要な患者へ実施	○			継続	
		転入院後の嚥下食への調整	必要な患者へ実施	○			継続	
		多職種カンファへの参加(情報共有)	各病棟の多職種カンファに参加	○			継続	
		配茶(とろみ茶、食間のおかわり用など)	全患者、全病棟へ実施	○			継続	
		食事の早出し対応	給食委託会社と協力し実施	○			継続	
		療養支援計画書への参画(入院前から介入)				○	新規	
	臨床検査技師	患者採血と検査説明の実施	外来・病棟部門において実施中		○		継続	臨床検査技師の増員
	臨床工学技士	医療機器の中央管理	精密機器の定数管理	○			継続	
		医療機器のメンテナンス	精密機器の作動確認、点検整備	○			継続	
		医療機器の研修	生命維持装置以外の医療機器の研修実施			○	新規	
	放射線科	撮影時のルート確保	人体(スタッフ間)穿刺練習中		○		実患者へ実施	
	MC	回診時の代行入力	メディカルクラーク係配置	○			継続	
		代行入力指示は医師から直接クラークへ連絡	メディカルクラーク係配置(PHS831携帯)	○			継続	
	病棟事務	直営で全病棟配置		○			継続	
	SPD	物品の定数管理及び運搬と補充	物品の定数化と棚への補充を実施	○			継続	
	患者サポートセンター	入退院支援業務	運用開始後継続して業務の検討や環境整備	○			継続	
		緊急入院時の情報収集	患者サポートセンターから救急・外来で情報収集し病棟に共有する	○			継続	
		転院調整中の初診患者のID取得	看護師から事務へ業務移行	○		○	継続	
	ケアスタッフ	身の回りに関するケア	買い物、衣服の着脱、見守りを実施	○			継続	ケアスタッフの増員
		食事に関するケア	配膳・下膳・食事介助を実施	○			継続	
		清潔に関するケア	リネン交換、入浴・清拭・洗髪介助を実施	○			継続	
	介護福祉士	身の回りに関するケア	買い物、衣服の着脱、見守りを実施	○			継続	介護福祉士の増員
		食事に関するケア	配膳・下膳・食事介助を実施	○			継続	
		清潔に関するケア	リネン交換、入浴・清拭・洗髪介助を実施	○			継続	
		生活変調をさせるためのケア	レクリエーションの実施	○			継続	
看護補助者の配置	主として事務的業務を行う看護補助者の配置	入院に関する書類の準備と整理	書類の作成とチェック、患者への同意とサインを実施	○			継続	
			入退院患者の赤ファイル作成と準備を実施	○			継続	
		備品請求	病棟の事務物品の請求業務の実施	○			継続	
		返戻カルテのチェック	サマリー等のチェックと入力を実施	○			継続	
	当院で3年以上の勤務経験者数	3年以上の勤務経験者数・介護福祉士スタッフ数の確保が困難	該当者が基準数を満たしていない			○	2028年度看護補助体制充実加算1の取得を目指す	3年以上の勤務継続者を確保し、12時間研修受講者数を増やす
	看護補助者の夜間配置	ケアスタッフの夜間配置	夜間急性期看護補助体制加算 100対1を取得	○			夜間急性期看護補助体制加算50対1の取得を目指す	夜勤勤務者の増員
訪問看護	訪問看護リモートアクセス	帰院後入力しているため非効率	他ベンダー検討中		○		採用ベンダーの選定	
	ケアブランデータ連携システム	FAX・電話連絡でやり取り	導入申込済		○		電話連絡・FAX送信回数の減少	運用構築

取組項目	取組内容	現状の取組	2025年度末の状況	進捗状況			2025年度の改善目標	今後に必要な対処
				達成済	進行中	未実施		
多様な勤務形態の導入	多様な勤務形態の導入	職員の生活スタイルに合わせた多様な勤務形態を導入している	2交替・日勤のみなど個人の環境に配慮し導入している	○			継続	
	半日・時間単位有給休暇制度	半日・時間で取得可能	有給休暇の半日・時間単位での取得実施	○				
妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮	院内保育所	6ヶ月〜就学まで保育の実施(営業発令時は小2まで可能)	保育の実施(生後5ヶ月〜小学校就学前まで)	○			継続	
	夜間保育の実施	24時間保育の実施	24時間保育の実施	○			継続	
	夜勤の減免制度	小学校就学前までは夜勤免除	小学校就学前まで申し出により夜勤免除を実施	○			継続	
	日・祝日勤務の制限制度	申し出により調整	申し出により調整し実施	○			継続	
	所定労働時間の短縮	1日の就労時間を6時間以上、15分単位で設定出来る	希望する勤務時間を申し出ることにより実施	○			継続	
	他部署等への配置転換	復職面談を行い配属部署を決定している	希望する働き方を考慮し実施	○			継続	
夜勤負担の軽減	夜勤従事者の増員	夜勤専従者の増員	夜勤専従者の募集をするも増員できず		○		各部署2名の専従パートの配置を目標とする	夜勤専従看護師の6名の増員
健康増進	月の夜勤回数の上限設定	18回/月	実施		○			

看護職員負担軽減の評価尺度

項目	基準・目標	2026.4.1	2027.4.1
超過勤務時間	5時間以下	0.91 時間	時間
平均夜勤時間	72.0時間以下	急性期: 71.4 時間 回復リハ: 59.7 時間 地域包括ケア病棟: 53.2 時間	